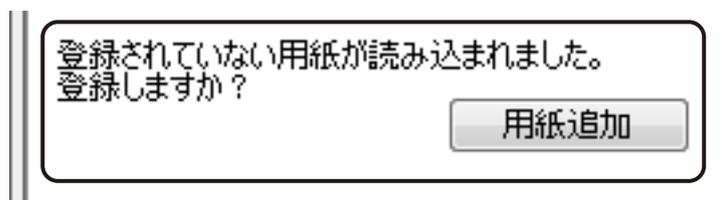


ImageCreate シリーズのファイル互換性について

本ソフトウェアは、ImageCreateDBL デザインファイル (*.IDD) および ImageCreateII デザインファイル (*.ICD)) を読み込むことができますが、ソフトウェアの仕様の違いにより次のような処理が行われます。

1. 用紙について

- ① 用紙サイズ
用紙設定が、本ソフトウェアの最大用紙サイズ（幅 120.0 mm× 高さ 300.0 mm）より大きいときは、本ソフトウェアの最大用紙サイズに変換して表示します。
- ② 用紙名
本ソフトウェアに登録されていない用紙名が読み込まれたときは、[用紙] プロパティに次のようなメッセージとボタンが表示されます。
[用紙追加] をクリックして用紙を登録してください。レイアウトには影響ありません。



2. ガイドバーおよびグリッドについて

設定されているガイドバーおよびグリッドは、本ソフトウェアで読み込んだときにいずれも削除されます。本ソフトウェアにて再度設定してください。

3. オブジェクトのグループ化およびロックについて

グループ化またはロックされているオブジェクトは、本ソフトウェアで読み込んだときに設定が解除されます。本ソフトウェアにて再度設定してください。

4. オブジェクトの表示について

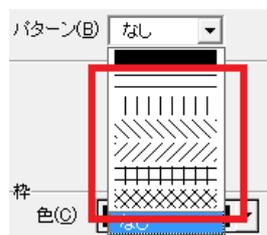
データに配置されているオブジェクトにP.371～P.387で示す項目が設定されているときは、設定情報が破棄されたり、本ソフトウェアの仕様に自動変換されたりするため、「ImageCreate DBL」または「ImageCreate II」と同じイメージで取り込むことができない場合があります。

また、「同等のプロパティ」にてプロパティ名が記してある項目は、本ソフトウェアにて同等の設定を行うことが可能ですが、「-」が記してある項目は、本ソフトウェアに同等の機能がない、または仕様が異なるため、同じように設定することができません。

● 文字オブジェクト

ImageCreateDBL/ImageCreate II			ImageCreate SE	
設定シート名	項目名		同等のプロパティ	結果
文字設定	文字幅 文字高さ		[フォント] プロパティ	<ul style="list-style-type: none"> 情報は保持されます。 文字幅または文字高さを任意の数値で指定している文字の場合、選択しているフォントによっては、見た目の大きさが変わってしまうことがあります。(文字オブジェクト_図1)
文字余白 / 丸み	文字余白	上 下 左 右	-	<ul style="list-style-type: none"> 情報は破棄されます。 オブジェクト内の文字位置が移動する場合があります。(図2)
	丸み	縦・横を同じ値にする 縦 横	-	<ul style="list-style-type: none"> 情報は破棄され、オブジェクトの角の丸みはなくなります。(図2) オブジェクトの丸み機能と同等の表示になるように設定したいときは、四角形オブジェクトを背面に作成します。四角形オブジェクトの[形状]プロパティで丸みを設定することができます。
塗り込み / 枠線	塗り込み	パターン	[背景] プロパティ	<ul style="list-style-type: none"> パターンに網掛け(ハッチ)^{*1}を設定している場合は、背景色が透明→白色に変換されます。(図3) 網掛け(ハッチ)の目が細かくなります。(図3)
	枠	色 線種 太さ	-	<ul style="list-style-type: none"> 情報は破棄され、オブジェクトの枠はなくなります。(図3) オブジェクトの枠機能と同等の表示になるように設定したいときは、四角形オブジェクトを背面に作成します。四角形オブジェクトの[線]プロパティで色、線種、太さを設定することができます。
位置 / サイズ	右下位置	左から 上から	-	<ul style="list-style-type: none"> 情報は破棄されますが、レイアウトには影響はありません。

*1 パターン_網掛け(ハッチ)(赤枠部分)



(図 1)

【ImageCreateDBL/ImageCreateII】

文字幅 / 文字高さを任意の値で指定している。

フォント A

ABC

フォント B

ABC

【ImageCreate SE】

フォントによっての大きさが変わってしまうことがある。(文字幅 / 文字高さの値は保持。)

フォント A

ABC

フォント B

ABC



(図 2)

【ImageCreateDBL/ImageCreateII】

余白：上、左

丸み：あり

SampleText

【ImageCreate SE】

余白：なし

丸み：なし

SampleText



(図 3)

【ImageCreateDBL/ImageCreateII】

パターン_網掛け：背景色が透明 (固定)

枠：あり

SampleText

【ImageCreate SE】

ハッチ：背景色が白色

目が細くなる

枠：なし

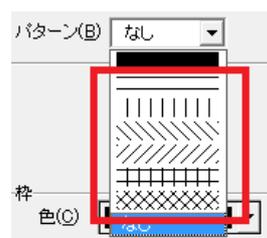
SampleText



● 四角形オブジェクト

ImageCreateDBL/ImageCreate II			ImageCreate SE	
設定シート名	項目名		同等のプロパティ	結果
塗り込み / 枠線	塗り込み	パターン	[塗潰し] プロパティ	<ul style="list-style-type: none"> パターンに網掛け（ハッチ）^{※1}を設定している場合は、背景色が透明→白色に変換されます。（図4） 網掛け（ハッチ）の目が細かくなります。（図4）
	枠	太さ	[線] プロパティ	<ul style="list-style-type: none"> 本ソフトウェアの設定可能範囲 0.1 mm ~ 50.0 mm に変換されます。（図4） 0.01 mm 以下のとき → 0.1 mm に変換 50.0 mm 以上のとき → 50.0 mm に変換 オブジェクトのサイズや枠の太さの設定値は変わりませんが、線幅に対する枠の基準位置が線幅に対して外 → 中心に変換されるため、オブジェクトの表示が大きくなります。（図5）
		線種		<ul style="list-style-type: none"> 破線の間隔が異なるため、表示が変わります。（図6）
丸み	丸み	縦・横を同じ値にする	-	<ul style="list-style-type: none"> 情報は破棄されますが、レイアウトには影響はありません。 縦・横の丸み値は保持されます。
位置 / サイズ	右下位置	左から 上から	-	<ul style="list-style-type: none"> 情報は破棄されますが、レイアウトには影響はありません。

※1 パターン_網掛け（ハッチ）（赤枠部分）

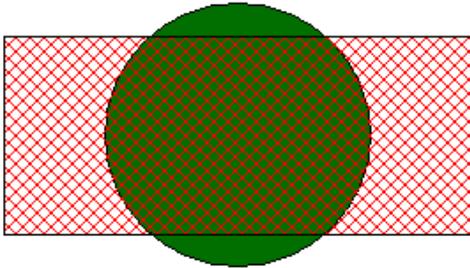


(図 4)

【ImageCreateDBL/ImageCreateII】

パターン_網掛け：背景色が透明（固定）

枠_太さ：0.01 mm

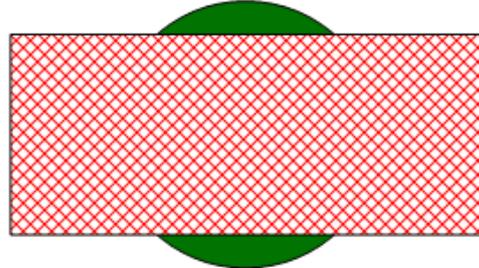


【ImageCreate SE】

ハッチ：背景色が白色

目が細くなる

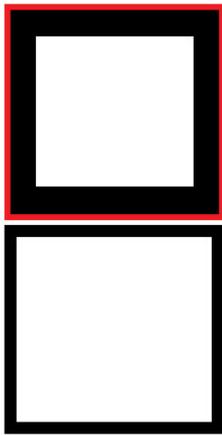
枠_太さ：0.1 mm



(図 5)

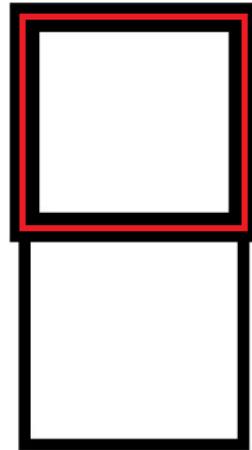
【ImageCreateDBL/ImageCreateII】

枠の基準位置：線幅に対して外（下図赤線）



【ImageCreate SE】

枠の基準位置：線幅に対して中心（下図赤線）

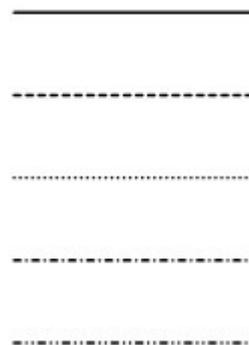


(図 6)

【ImageCreateDBL/ImageCreateII】



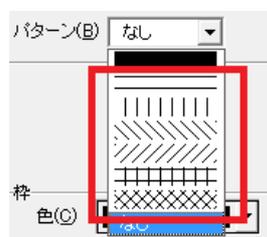
【ImageCreate SE】



● 楕円オブジェクト

ImageCreateDBL/ImageCreateII			ImageCreate SE	
設定シート名	項目名		同等のプロパティ	結果
塗り込み / 枠線	塗り込み	パターン	[塗潰し] プロパティ	<ul style="list-style-type: none"> パターンに網掛け（ハッチ）^{※1}を設定している場合は、背景色が透明→白色に変換されます。（図7） 網掛け（ハッチ）の目が細かくなります。（図7）
		枠		
		線種	<ul style="list-style-type: none"> 破線の間隔が異なるため、表示が変わります。（四角形オブジェクト_図6） 	
位置 / サイズ	右下位置	左から 上から	-	<ul style="list-style-type: none"> 情報は破棄されますが、レイアウトには影響はありません。

※1 パターン_網掛け（ハッチ）（赤枠部分）

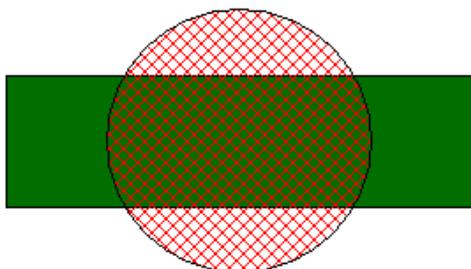


(図7)

【ImageCreateDBL/ImageCreateII】

パターン_網掛け：背景色が透明（固定）

枠_太さ：0.01 mm

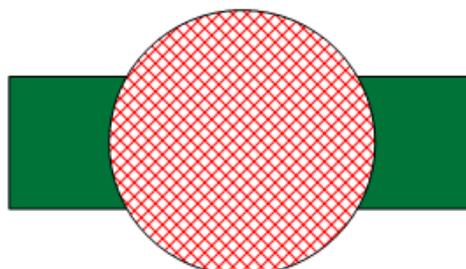


【ImageCreate SE】

ハッチ：背景色が白色

目が細かくなる

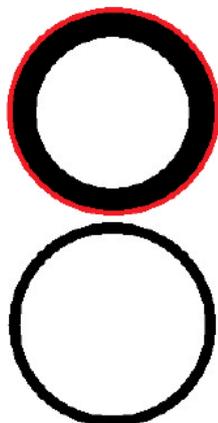
枠_太さ：0.1 mm



(図 8)

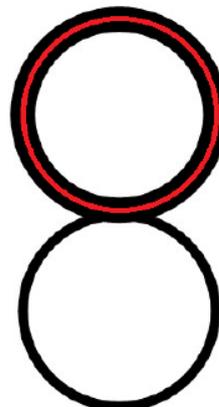
【ImageCreateDBL/ImageCreateII】

枠の基準位置：線幅に対して外（下図赤線）



【ImageCreate SE】

枠の基準位置：線幅に対して中心（下図赤線）



● 線オブジェクト

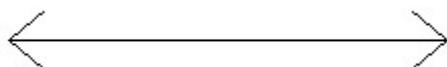
ImageCreateDBL/ImageCreateII			ImageCreate SE	
設定シート名	項目名		同等のプロパティ	結果
線種 / 矢印	枠	太さ	[線] プロパティ	• 本ソフトウェアの設定可能範囲 0.1 mm ~ 50.0 mm に変換されます。(図 9) 0.01 mm 以下のとき → 0.1 mm に変換 50.0 mm 以上のとき → 50.0 mm に変換
		線種		
	矢印設定	なし 始点 終点 両方 長さ 角度	-	• 情報は破棄され、矢印なしの線に変換されます。(図 9)
位置 / サイズ	右下位置	左から 上から	-	• 情報は破棄されますが、レイアウトには影響はありません。

(図 9)

【ImageCreateDBL/ImageCreateII】

線_太さ：0.01 mm

矢印設定：両方



【ImageCreate SE】

線_太さ：0.1 mm

矢印なしの線に変換される



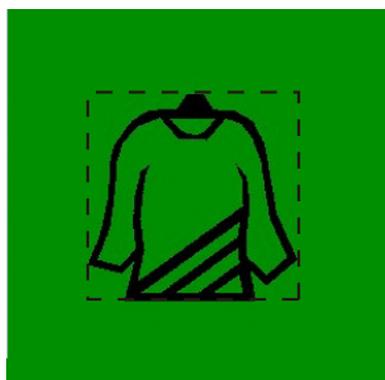
● 画像オブジェクト

ImageCreateDBL/ImageCreateⅡ		ImageCreate SE		
設定シート名	項目名	同等のプロパティ	結果	
画像設定	種類	-	<ul style="list-style-type: none"> 情報は破棄されます。 	
	背景色を透過にする	-	<ul style="list-style-type: none"> 情報は破棄されます。(図 10) 背景色透過機能と同等の表示になるように設定したいときは、[修飾] プロパティの「透過指定する」にチェックマークをいれ、背景色と同じ色を透明色に指定します。 	
位置 / サイズ	右下位置	左から 上から	-	<ul style="list-style-type: none"> 情報は破棄されますが、レイアウトには影響はありません。
全般		-	<ul style="list-style-type: none"> 画像処理が自動で行われ、輪郭がなめらかになります。 	

(図 10)

【ImageCreateDBL/ImageCreateⅡ】

背景色を透過にする：ON
(下図点線がオブジェクト枠)



【ImageCreate SE】

透過設定が解除される

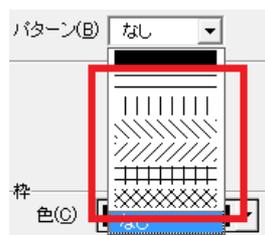


● ナンバリングオブジェクト

ImageCreateDBL/ImageCreateII			ImageCreate SE		
設定シート名	項目名		同等のプロパティ	結果	
ナンバリング	書式文字列	桁数 前文字 後文字 0 埋め	[ナンバリング] プロパティ	<ul style="list-style-type: none"> 左記の項目についての情報は保持されません。 	
		カンマ区切り		<ul style="list-style-type: none"> 次のように処理します。 「カンマ区切り」のみ設定されているとき： → 情報は保持されます。 「カンマ区切り」および「0 埋め」が設定されているとき： → 「0 埋め」の設定情報が保持され、「カンマ区切り」の設定情報は破棄されます。(図 11) 	
		日付・時刻スタンプ		-	<ul style="list-style-type: none"> オブジェクトは削除されます。
		固定文字のみ		-	<ul style="list-style-type: none"> オブジェクトは削除されます。(図 11)
	全角半角	全角	-	<ul style="list-style-type: none"> 全角文字は半角文字に変換されます。(図 12) 	
文字設定	文字幅 文字高さ		[フォント] プロパティ	<ul style="list-style-type: none"> 情報は保持されます。 文字幅または文字高さを任意の数値で指定している文字の場合、選択しているフォントによっては、見た目の大きさが変わってしまうことがあります。(文字オブジェクト_図 1) 	
文字余白 / 丸み	文字余白	上 下 左 右	-	<ul style="list-style-type: none"> 情報は破棄されます。 オブジェクト内の文字位置が移動する場合があります。(図 12) 	
	丸み	縦・横を同じ値にする 縦 横	-	<ul style="list-style-type: none"> 情報は破棄され、オブジェクトの角の丸みはなくなります。(図 12) オブジェクトの丸み機能と同等の表示になるように設定したいときは、四角形オブジェクトを背面に作成します。四角形オブジェクトの [形状] プロパティで丸みを設定することができます。 	

塗り込み / 枠線	塗り込み	パターン	[背景] プロパティ	<ul style="list-style-type: none"> パターンに網掛け（ハッチ）^{※1}を設定している場合は、背景色が透明→白色に変換されます。（図 13） 網掛け（ハッチ）の目が細かくなります。（図 13）
	枠	色 線種 太さ	-	<ul style="list-style-type: none"> 情報は破棄され、オブジェクトの枠はなくなります。（図 13） オブジェクトの枠機能と同等の表示になるように設定したいときは、四角形オブジェクトを背面に作成します。四角形オブジェクトの[線]プロパティで色、線種、太さを設定することができます。
位置 / サイズ	右下位置	左から 上から	-	<ul style="list-style-type: none"> 情報は破棄されますが、レイアウトには影響はありません。

※1 パターン_網掛け（ハッチ）（赤枠部分）



(図 11)

【ImageCreateDBL/ImageCreateII】

- ① カンマ区切り：ON
0埋め：ON
- ② 固定文字列のみ

① 009, 999, 999

② ABCDEF

【ImageCreate SE】

- ① 桁区切り：OFF
ゼロ埋め：ON
- ② オブジェクトは削除される

① 0099999999



(図 12)

【ImageCreateDBL/ImageCreateII】

- 余白：上、左
- 丸み：あり
- 文字：全角

1 2 3 4



【ImageCreate SE】

- 余白：なし
- 丸み：なし
- 文字：半角（固定）

1234

(図 13)

【ImageCreateDBL/ImageCreateII】

- パターン_網掛け：背景色が透明（固定）
- 枠：あり

1234



【ImageCreate SE】

- ハッチ：背景色が白色
目が細くなる
- 枠：なし

1234

● バーコードオブジェクト (ImageCreateDBLのみ)

ImageCreateDBL			ImageCreate SE		
設定シート名	項目名		同等のプロパティ	結果	
バーコード	バー	種類	[バーコード]プロパティ	<ul style="list-style-type: none"> 下表1【バーコードの互換情報】参照 	
		チェックデジット	[設定]プロパティ	<ul style="list-style-type: none"> チェックデジットの有無情報は保持されます。 チェックデジットの種類情報は破棄されます。本ソフトウェアではチェックデジットの種類は選択できません。 	
		スタート エンド バー高さ ナローバーサイズ		<ul style="list-style-type: none"> 情報は保持されます。 	
		キャラクタ間ギャップ	-	<ul style="list-style-type: none"> 情報は破棄されます。 	
	コード文字	コード文字を印刷する		[設定]プロパティ	<ul style="list-style-type: none"> 情報は保持されます。 「テキスト表示」にチェックマークが入ります。
		フォント	種類 サイズ		<ul style="list-style-type: none"> 情報は保持されます。
			文字幅 文字高さ	<ul style="list-style-type: none"> 文字幅、文字高さの情報は破棄されます。コード文字の文字幅または文字高さを任意の数値で指定しているバーコードオブジェクトがあるデータは、エラーメッセージが表示され、本ソフトウェアで開くことができません。(図 16) 「ImageCreateDBL」でサイズ (ポイント) を再指定してください。 	
			位置・配置	位置	<ul style="list-style-type: none"> 情報は破棄され、「バーの下」に配置します。(JAN-8/JAN-13 はロングバー付き) (図 15)
			文字配置	-	<ul style="list-style-type: none"> 情報は破棄され、「中央揃え」で配置します。(図 15)
		バーとの距離	-	<ul style="list-style-type: none"> 情報は破棄されます。(図 15) 	

	色・枠・回転	色	前景色	-	・ 情報は破棄され、前景色は黒色に変換されます。(図 15)
			背景色	-	・ 情報は破棄され、背景色は白色に変換されます。(図 15)
		枠	色	-	・ 情報は破棄され、オブジェクトの枠はなくなります。(図 14)
			線種 太さ	-	・ 情報は破棄され、オブジェクトの枠はなくなります。(図 14)
	回転				・ 情報は保持されます。
	印刷しない			[ブロック] プロパティ	・ 情報は保持されます。 ・ 「印刷対象」のチェックマークが外れます。
ナンバリング	書式文字列			-	・ 書式文字列は固定文字列として読み込まれます。(図 14) ([バーコード] プロパティ _ 「固定」) ・ 次の文字列は固定文字列に変換されます。(図 14) ナンバリング文字 ("#", "0") ダブルクォーテーション (" ")
位置 / サイズ	右下位置	左から 上から		-	・ 情報は破棄されますが、レイアウトには影響はありません。

表 1 【バーコードの互換情報】

ImageCreateDBL	ImageCreate SE
バーコード種類	結果
JAN8	<ul style="list-style-type: none"> ・ 情報は保持されます。 ・ 書式文字列→固定文字列に変換されるため、バーコードが表示されない場合があります。入力データをバーコードの仕様に合わせてください。
JAN13	<ul style="list-style-type: none"> ・ 情報は保持されます。 ・ 書式文字列→固定文字列に変換されるため、バーコードが表示されない場合があります。入力データをバーコードの仕様に合わせてください。
ITF	・ JAN13 バーコードに変換されます。
NW7	・ JAN13 バーコードに変換されます。
CODE39	・ JAN13 バーコードに変換されます。
CODE128	・ 情報は保持されます。

(図 14)

【ImageCreateDBL】

書式文字列："123"#"456"

文字：全角



【ImageCreate SE】

データ種類：固定

入力データ："123"#"456"

枠：なし



(図 15)

【ImageCreateDBL】

コード文字：バーの上

右寄せ

前景色：黄色

背景色：緑色



【ImageCreate SE】

コード文字：バーの下 (固定)

ロングバー付き (JAN8/JAN13)

中央揃え (固定)

前景色：黒色 (固定)

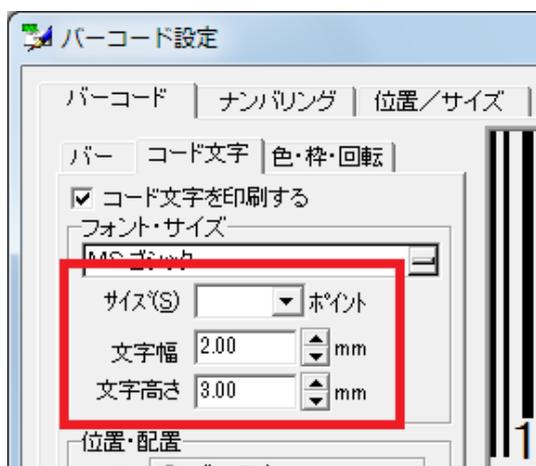
背景色：白色 (固定)



(図 16)

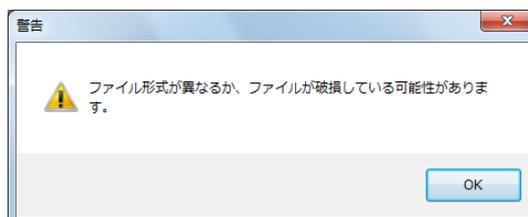
【ImageCreateDBL】

コード文字の文字幅 / 文字高さを任意の値で指定している。



【ImageCreate SE】

エラーメッセージが表示されます。



● 差し込みオブジェクト (ImageCreateDBL のみ)

ImageCreateDBL		ImageCreate SE	
設定シート名	項目名	同等のプロパティ	結果
差込 (文字のとき)	フィールド差込	[文字] プロパティ (差し込み)	・ 情報は保持されます。
	マクロ指定	[文字] プロパティ (マクロ)	・ 下表 2【マクロ書式の互換情報】参照
差込 (バーコードのとき)	フィールド差込	[バーコード] プロパティ (差し込み)	・ 情報は保持されます。
	マクロ指定	-	・ オブジェクトは削除されます。
文字設定 ^{※2}	文字幅 文字高さ	[フォント] プロパティ	・ 情報は保持されます。 ・ 文字幅または文字高さを任意の数値で指定している文字の場合、選択しているフォントによっては、見た目の大きさが変わってしまうことがあります。(文字オブジェクト_図1)
文字余白 / 丸み ^{※2}	文字余白	上 下 左 右	・ 情報は破棄されます。 ・ オブジェクト内の文字位置が移動する場合があります。(文字オブジェクト_図2)
	丸み		縦・横を同じ値にする 縦 横

塗り込み / 枠線 ※2	塗り込み	パターン	[背景] プロパティ	<ul style="list-style-type: none"> パターンに網掛け（ハッチ） ※1 を設定している場合は、背景色が透明→白色に変換されます。（文字オブジェクト_図3） 網掛け（ハッチ）の目が細かくなります。（文字オブジェクト_図3）
	枠	色 線種 太さ	-	<ul style="list-style-type: none"> 情報は破棄され、オブジェクトの枠はなくなります。（文字オブジェクト_図3） オブジェクトの枠機能と同等の表示になるように設定したいときは、四角形オブジェクトを背面に作成します。四角形オブジェクトの[線]プロパティで色、線種、太さを設定することができます。
バーコード ※3			-	「バーコードオブジェクト_バーコード」参照
位置 / サイズ	右下位置	左から 上から	-	<ul style="list-style-type: none"> 情報は破棄されますが、レイアウトには影響はありません。

※1 パターン_網掛け（ハッチ）（赤枠部分）

※2 差込文字のみ表示

※3 差込バーコードのみ表示

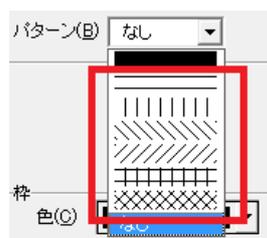


表2【マクロ書式の互換情報】

ImageCreateDBL		ImageCreate SE
マクロ書式	内容	結果
FLD("フィールド名")	フィールド指定	・情報は保持されます。
"文字"	文字出力	・情報は保持されます。
+	結合	・書式が「+」→「&」に変換されますが、表示に影響はありません。
&	行結合	・「&」の表す内容が異なるため、改行情報が失われます。 ・「&」を「& BR」と入力すると、同等の結果が得られます。
	パイプ	・左記書式を含むマクロオブジェクトは、書式エラーと判断し、「0」と表示されます。
LT(位置,桁数)	左切り出し	
RT(位置,桁数)	右切り出し	
XLD("文字")	文字除去	
ZEN()	全角変換	
REP("文字A","文字B")	文字置換	
EXT(位置)	行切り取り	
CAT()	複数行結合	

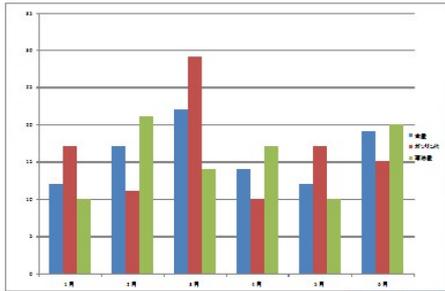
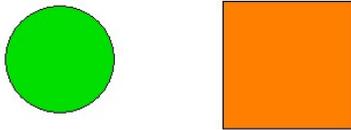
● OLE オブジェクト、用紙柄 (ImageCreateIIのみ)

ImageCreateII	ImageCreate SE	
オブジェクト名	同等のプロパティ	結果
OLE (ImageCreateIIのみ)	-	・オブジェクトは削除されます。(図 17)
用紙柄 (ImageCreateII) カード柄 (ImageCreateDBL)	[背景] プロパティ	・情報は保持されますが、フィット仕様の違いがあるため、見え目が変わってしまう場合があります。(図 18) ・同等の表示になるように設定にしたいときは、伸縮設定を「自動フィット」→「サイズ合わせ」に変更します。(図 18)
	-	・画像処理が自動で行われ、輪郭がなめらかになります。

(図 17)

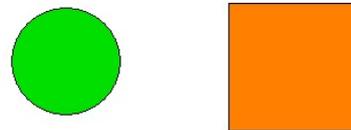
【ImageCreateⅡ】

OLE オブジェクト_下図グラフ



【ImageCreate SE】

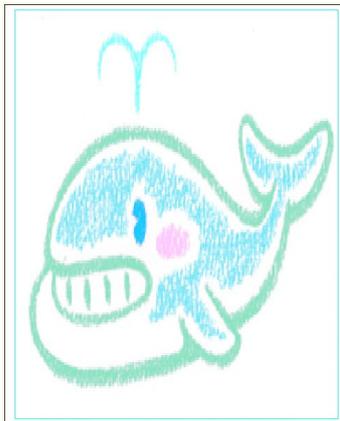
OLE オブジェクトは削除される。



(図 18)

【ImageCreateDBL/ImageCreateⅡ】

カード柄 / 用紙柄



【ImageCreate SE】

背景の種類：イメージ

伸縮：自動フィット



背景の種類：イメージ

伸縮：サイズ合せ

